

パスワード付き ZIP ファイル添付メール(通称 PPAP)の 利用廃止に関するお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般財団法人近畿健康管理センターは、従業員が送受信するすべてのメールにおいて、パスワード付き ZIP ファイルの利用を廃止することとしましたので、お知らせいたします。

お客様ならびにお取引先様、関係の皆様にはご不便をおかけし誠に恐縮ですが、何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 運用変更日

2023年10月15日(日)(予定)

2. 運用における変更点

○弊財団からのメールを受信いただく(添付ファイルをお受け取りいただく)場合

弊財団からメールにてファイルを送付する場合、パスワード付き圧縮ファイルを添付する方式を改め、ファイルをダウンロードするためのアドレス(URL)を送付します。

<ファイル受領の流れ>

- i. メールに添付されたPDFファイルに記載のURLにアクセス
- ii. メールアドレス認証画面にて「OK」をクリック
- iii. PDFファイルを受信されたメールアドレス宛に認証コードが届きます
- iv. 「iii」の認証コードを認証コードの入力画面に入力し「認証する」をクリック
- v. 認証後画面よりファイルのダウンロードが可能

○弊財団宛にメールをお送りいただく場合

弊財団従業員宛に送付されたメールにパスワード付き圧縮ファイルが添付されていた場合、メールは受け取らずに送信者にエラーメールが返送されます。

データ授受が発生する場合は、メール以外での授受方法をご案内させていただきますので、弊財団担当にご確認ください。

3. 背景

パスワード付き圧縮ファイルは、ファイルが暗号化されているため、メール受信時のマルウェアの検出が極めて困難です。昨今増加しているマルウェア「Emotet(エモテット)」などの感染経路として利用されるなど、悪意ある攻撃が世界中で多数確認されており、弊財団においても悪意あるメールの受信を確認しております。このような背景から、お客様ならびにお取引先様、関係の皆様のセキュリティ確保を目的とし、パスワード付き圧縮ファイルの利用廃止を決定いたしました。

以上